

人間科学科目 H25年度以降開講科目

科目名	科学技術と現代社会	学科	g	学年	2	単位	2	配当期	半期(前/後)
達成目標	科学技術をめぐる問題について多面的に考え、自分の言葉で表現することができる。また、根拠に基づいて、自分の意見を主張したり、他人の意見を批判したりすることができる。								
目的概要	現代社会に生きる私たちは科学技術から様々な恩恵を享受するとともに、時に大小様々な不利益を被ることがある。そこで、科学技術に携わる技術者は、そうした科学技術の両面をきちんと認識した上で、自らの責任を果たしていく必要がある。この科目の目的は、現代社会において問題となっている科学技術を取り上げ、それを多面的に考察することにより、科学技術に関する理解を深めることである。								
科目名	教養演習(発表の技法)	学科	g	学年	3	単位	2	配当期	半期(前/後)
達成目標	学生自らが「人類に共通する課題又は我が国社会全体に関わる課題のうち一つのテーマ」に深く関わり、調査、文献検索、研究発表、ディスカッション等の自主的な学習体験を通じて、社会を担う若者に求められる資質を高めることを目標とする。								
目的概要	一般教養の諸分野の勉学をさらに深めたい学生、様々な現実的な課題に自ら取り組んでみようという積極性のある学生のために設けられている科目である。人間科学系列教員の直接指導のもとに、個別のテーマについて輪読、調査、発表、討論、論文作成などを通じて、知識の修得とともに調査研究やプレゼンテーションの能力、批判的思考能力や課題解決能力を養成することを目的とする。つまり、様々な知識や技能を活用し、具体的な課題を解決できる力(コンピテンシー)の獲得を目的としてデザインされたPBL(プロジェクト型)科目である								
科目名	スポーツ科学演習A	学科	g	学年	234	単位	2	配当期	半期(前)
達成目標	自身の適正体重および健康度の維持・向上を目指した運動習慣と生活習慣を立案し実践できる。								
目的概要	本授業は、理論と実践を通じて運動や身体活動が及ぼす肥満度、体力、健康への効果について実体験に基づき理解を深め、日々の生活に持続的に応用できる能力を育むことを目的とする。また、自身の体力・健康度に関する測定・観察を通して論理的推論に基づき解決策を見いだす能力を滋養する。								
科目名	スポーツ科学演習B	学科	g	学年	234	単位	2	配当期	半期(後)
達成目標	自身の体力維持・向上を目指した数値目標を定め、運動プログラムを科学的根拠に基づき立案し実践できる。								
目的概要	本授業は、理論と実践を通じて確実な体力向上を目指したトレーニングプログラムを作成する。自身で作成したトレーニングプログラムを実践することにより、体力・健康への効果について実体験に基づき理解を深める。そして、体力維持・向上を目指した運動実践を日々の生活に持続的に応用できる能力を育むことを目的とする。また、自身の体力に関する測定・観察を通して論理的推論に基づき解決策を見いだす能力を滋養する。								
科目名	企業と社会	学科	g	学年	全	単位	2	配当期	半期(前/後)
達成目標	企業と社会の関係を学ぶことにより、より広い視野で企業を捉え直すこと。								
目的概要	企業の社会的責任(CSR)を3層で捉えると、その中心に位置するのが、法令遵守にあたる企業コンプライアンスであり、次の層が企業倫理、一番外側の層が企業の社会貢献ということになる。これらの3層について具体的な事例を通して理解を深めていく。さらに、「本業を通じた社会貢献」や社会貢献をコミュニケーションすることにより、生まれるマーケティング効果(コース・リレーテッド・マーケティング)についても学んでいく。								